



最近、ホッと一息、ついていますか？

秋も深まり、冬がもうそこまで来ている季節になりました。みなさん、いかがお過ごしですか？

後期もあつという間に半分が過ぎ、そろそろ冬休みへのカウントダウン(?)をしている人もいるのではないのでしょうか。個人的には、だんだん寒くなっていくこの季節は嫌いじゃないのですが、でも朝お布団から出るのが辛いのは何とも…。今年は対面授業ということもあり、朝起きるのが辛いと感じている人は少なくないのでは？ベッドの中でぬくぬくとしていたい気持ちを気合で振り払って、皆さん、遅刻しないように頑張りましょうね！

～アウトティングとカミングアウト～

前回の相談室だより(2022 年夏号)では、“SOGI ハラ”についてご紹介しました。その中で、SOGI ハラに挙げられている具体例の一つとして、“アウトティング”がありましたね。“アウトティング”とは、「誰かの SOGI について許可なく他人に伝えること」です。例えば、あなたの友人 A さんが「実は自分はゲイなんだ」と伝えたとします。それを別の B さんに「A さんってゲイなんだって」と伝えること。これがアウトティングです。

一方、“カミングアウト”とは、「自分の SOGI について自らの意思で人に伝えること」を言います。セクシャリティについて誰かに「伝える」という意味では、アウトティングもカミングアウトも共通しています。でも、そこに「当事者の意思」が反映されているかどうか、という点がとても大事なポイントです。

たとえば、あなたのとてもプライベートなこと、家族のことや自分の過去、コンプレックス、隠しておきたいことや人に理解されないかもと恐れていることがあるとします。それを信頼している友人に思い切って打ち明けたら、後日その内容が別の友人に伝わっているとしたら・・・とてもショックですよ。信頼していた友人を信じられなくなるかもしれないし、思い切って打ち明けた自分を責めてしまうかもしれない。学校や職場に行くことも怖くなるかもしれないし、人を信用できなくなるかもしれません。

実際、7 年前にある大学でアウトティングによる痛ましい事件がありました。学生であった A さんが、同性の友人である B さんに好意があると伝えたと、「おまえがゲイであることを隠しておくのは無理だ」と、他の友人たちに A さんがゲイであることを広げてしまいました。その後、A さんは精神的不調を来し、大学に相談するも“アウトティング”がハラスメントであることを理解してもらえず、A さんは転落死してしまうという悲しい結果となってしまいました。

A さんの転落死の原因がアウトティングだと安易に結びつけることはできませんが、少なくともアウトティングによって A さんが深く傷ついたであろうことは想像に難くありません。アウトティングはハラスメントであること、そして自分にとってとても重要な、そしてセンシティブなことが、自分の意思に反して他者に伝わってしまうことによって、当事者がどれほど傷ついたり、恐怖を感じたりするだろうということについての理解や想像力があれば、もしかしたら B さんの対応も違ったものになったかもしれない、と思います。もちろん大学の対応も、私たちが反面教師にしなければならないことがたくさんあると思います。

SOGIに関わらず、みんなそれぞれ個性や事情や考えをもって生きています。一人ひとりの選択や意思や気持ちを、お互いに尊重し、大切にしようといえるといいですね。

